Curriculum

4年間で余裕を持って確実に国家試験に合格する

ヒューマンケアを基盤とする特色あるカリキュラム

赤文字：必修科目
青文字：選択必修
黒文字：選択科目
◆印：学外実習

1年次

基礎的な看護知識を身に付け、専門的な学修への基礎を固める。

看護専門科目群

看護学概論
ヒューマンケアと看護倫理
生活援助論Ⅰ
生活援助論Ⅱ
ヘルスアセスメント
基礎看護学実習Ⅰ◆
地域共生社会と看護
地域の暮らしと看護

実践的な知識と技術を身につけるため、1年次から実習を行います。

看護の基礎科目群

身体の構造・機能Ⅰ（基礎）
身体の構造・機能Ⅱ（系統別）
こころの健康
ウェルネス期看護論
経過別看護論
免疫・感染学
病理学
老年病学
病態と治療Ⅰ(呼吸器･循環器･脳神経･血液)
病態と治療Ⅱ(消化器･腎臓･内分泌･代謝)
公衆衛生学
社会福祉概論
保健医療福祉行政のしくみと看護

ヒューマンケアの基礎科目群

ヒューマンケア概論
心理学
倫理と医療
人間の生き方（渋沢栄一・論語）
医療の歴史
生活科学
生活と芸術
生涯スポーツⅠ
生涯スポーツⅡ
法学（日本国憲法を含む）
社会学
化学基礎
化学
生物学基礎
生物学
統計学入門
物理学
情報処理
大学入門講座
医療
コミュニケーション論
情報学基礎（ICTを含む）
ボランティア活動論
東都フロンティア
基礎英語
実践英語
フランス語
中国語
手話入門

2年次

いよいよ専門領域へ。人間の健康と病気について理解する。

看護専門科目群

生活援助論Ⅲ
看護実践方法論
基礎看護学実習Ⅱ◆
成人看護学概論
成人看護学援助論Ⅰ
成人看護学援助論Ⅱ
成人看護学援助論Ⅲ
高齢者看護学概論
高齢者看護学援助論Ⅰ
高齢者看護学援助論Ⅱ
小児看護学概論
小児看護学援助論
リプロダクティブヘルス看護学概論
リプロダクティブヘルス看護学援助論
地域・在宅看護概論
地域・在宅看護援助論
精神看護学概論
精神看護学援助論
家族看護論
リハビリテーション看護
産業看護論Ⅰ

保健師課程を履修するために必要な科目
学校保健活動論

助産師課程を履修するために必要な科目
学校保健活動論

看護の基礎科目群

病態と治療Ⅲ(筋骨格･感覚器)
病態と治療Ⅳ(小児)
病態と治療Ⅴ(泌尿器･生殖器･産婦人科)
薬理学
栄養生化学
精神医学
画像診断学
カウンセリング
看護関係法規
医療経済入門

保健師課程を履修するために必要な科目
疫学
保健統計
保健医療福祉行政論Ⅰ

ヒューマンケアの基礎科目群

教育学
臨床哲学
DEATH「死」とは何か
教育情報論
実践医療英語Ⅰ
実践医療英語Ⅱ
異文化理解とコミュニケーション
国際社会

3年次

高度な看護理論と臨地実習で、看護職としての専門性を深める。

看護専門科目群

看護と臨床判断
成人看護学経過別実習Ⅰ◆
成人看護学経過別実習Ⅱ◆
成人看護学実習◆
成人・高齢者看護学実習◆
高齢者看護学実習◆
小児看護学実習◆
リプロダクティブヘルス看護学実習◆
地域・在宅看護論実習◆
精神看護学実習◆
地域包括ケア論
医療安全

保健師・助産師専門科目群

保健師課程（定員25名以内） 必修科目
公衆衛生看護学概論
公衆衛生看護活動論
公衆衛生看護活動展開論

助産師課程を履修するために必要な科目
助産学概論
基礎助産学

4年次

臨地実習を中心に生きた知識を身につける。

看護専門科目群

産業看護論Ⅱ
看護研究方法
ヒューマンケア看護研究
ヒューマンケア総合演習
看護統合実習◆
看護マネジメント
関係職種連携論
感染看護
がん看護
救急看護
災害看護

助産師課程を履修するために必要な科目
国際医療協力

保健師・助産師専門科目群

保健師課程（定員25名以内） 必修科目
公衆衛生看護学演習
健康教育演習
地域アセスメント
公衆衛生看護管理
保健医療福祉行政論Ⅱ
公衆衛生看護学実習◆

助産師課程（定員10名程度）必修科目
周産期の基礎
助産診断・技術学Ⅰ
助産診断・技術学Ⅱ
分娩介助技法
地域母子保健
助産管理
助産学実習Ⅰ◆
助産学実習Ⅱ◆

ヒューマンケアの基礎科目群

先進医療
労働衛生関係法規Ⅰ
労働衛生関係法規Ⅱ

国家試験受験（看護師・保健師・助産師）